

講義シラバス

科目名	アシスタントプログラム	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	藤 なつき	講師 プロフィール	札幌ベルエポック専門学校を卒業し、美容、ブライダル会社にてコーディネーターヘアメイクとして勤務。現在、フリーランスのヘアメイク。						
【授業を通じての到達目標】									
・現場実習、就職に備えて、お客様・クライアントの要望に応えられる技術力、臨機応変な対応ができるようになる。									
【学習内容】									
・アシスタントとして必要な知識や技術を身につけ、ヘアセットのバリエーションやスピードをあげる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式、筆記用具					1、事前準備 2、相モデルに合うヘアメイクを考えてくる 3、ヘアメイク作品の整理				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/27)	【到達目標】 メイク道具 相モデルの普通のメイクを再現できるようになる。 (モデルは口頭でだけでポイント伝える)				⑨ (11/22)	【到達目標】 ウィック、ヘア道具一式 ・ヘアのバリエーションを増やし、手早く作れるようになる。			
② (10/4)	【到達目標】 ウィック、ヘア道具一式 (ホットカーラー・ブラシ) ・ホットカーラーだけでヘアセットできるようになる。 ・ロングウィックをボブっぽくまとめる				⑩ (11/29)	【到達目標】 相モデル、ヘア道具一式 ・相モデルの前髪を普段と変えてヘアセットができるようになる。			
③ (10/11)	【到達目標】 相モデル、ヘア道具一式 (ホットカーラー・ブラシ) ・ホットカーラーだけで人頭でヘアセットできるようになる。				⑪ (12/6)	【到達目標】 相モデル、ヘア道具一式、帽子 ・帽子を使ったヘアセットができるようになる。(小物への対応力)			
④ (10/18)	【到達目標】 相モデル、メイク道具、アイロン、ドライヤーなど ・カラーを目元に使ったメイクができるようになる。(1人30分) ・顔周り、前髪まで整え仕上げる。				⑫ (12/13)	【到達目標】 ウィック、ヘア道具一式 ・ヘアのバリエーションを増やし、手早く作れるようになる。			
⑤ (10/25)	【到達目標】 相モデル、ヘアセット道具 ・エキストラ役のヘアの早替えができるようになる。 (バリエーション、スピード強化)				⑬ (12/20)	【到達目標】 ウィック、ヘア道具一式 ・課題に出されたヘアスタイルを完璧に真似して作れるようになる。 (誰が1番似せて作れるか大会開催!)			
⑥ (11/1)	【到達目標】 相モデル、ヘアセット道具 ・エキストラ役のヘアの早替えができるようになる。 (バリエーション、スピード強化)				⑭ (1/17)	【到達目標】 ・定期試験に向けて、2024春のトレンドを取り入れたトレンドメイクを研究しセルフでトレーニング。			
⑦ (11/8)	【到達目標】 相モデル、メイク道具、アイロン、ドライヤーなど <課題> ・ページにこだわったメイクができるようになる。 ・顔周り、後れ毛の仕上げも含む				⑮ (1/24)	【定期試験】 50 相モデル、メイク道具、アイロン、ドライヤーなど ・2024年春のトレンドを取り入れたトレンドメイクができるようになる。 (1人30分) 顔周り、後れ毛の仕上げも含む			
⑧ (11/15)	【到達目標】 相モデル、メイク道具、アイロン、ドライヤーなど ・前髪、後れ毛のニュアンスにこだわったヘアができるようになる。				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
*学校の企画や、イベントにより授業内容変わりますのでしっかりと内容確認してください。									
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	クリエイティブヘアメイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	2年生		
講師名	箱石・宍戸	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、プライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクを始め、美容専門学校の講師、更に世界4大コレクションであるNYコレクションのもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが14名所属するヘアメイク事務所						
様々なテイストのヘアメイク作品を作成、撮影し、想像力と発想力を磨く事ができるようになる。									
【学習内容】									
様々なテイストのヘアメイク作品を作成、撮影し、作品数を増やしていく事ができる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具 必要な小物類									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/29)	【到達目標】 授業の意味を理解してもらう 小テスト2点 授業内容の説明 科目の必要性を理解する ルール、シラバス説明。 広告撮影を想定し、コラージュ作り、練習を相モデルで行う事ができる。				⑨ (12/1)	【到達目標】 小テスト3点 各自、自由にテーマを設定し コラージュ作成、ポイント練習を相モデルで行う事ができる。			
② (10/6)	【到達目標】 小テスト2点 広告撮影を想定したヘアメイクを相モデルで完成させ、撮影する事ができる。				⑩ (12/8)	【到達目標】 小テスト3点 テーマに沿ったヘアメイク作品を相モデルで完成させ、撮影する事ができる。			
③ (10/13)	【到達目標】 小テスト3点 花をイメージしたヘアメイク コラージュ作成、ポイント練習を相モデルで行う事ができる。				⑪ (12/15)	【到達目標】 小テスト3点 short MV制作GP(CM・MV・ドラマ)絵コンテや割り説明、GP決め・絵コンテ作りが出来る			
④ (10/20)	【到達目標】 小テスト3点 花をイメージしたヘアメイクを相モデルで完成させ、撮影する事ができる。				⑫ (12/22)	【到達目標】 小テスト3点 short MV ポイント練習や動きのテストを行い、次回本番に向けて調整を行う事ができる。			
⑤ (10/27)	【到達目標】 小テスト3点 レトロ・ヴィンテージ・アンティーク調をイメージしたヘアメイク コラージュ作成、ポイント練習を相モデルで行う事ができる。				⑬ (1/12)	【到達目標】 小テスト3点 short MV制作し、動画を作ることができるようになる			
⑥ (11/10)	【到達目標】 小テスト3点 レトロ・ヴィンテージ・アンティーク調をイメージしたヘアメイクを相モデルで完成させ 撮影する事ができる。				⑭ (1/19)	【到達目標】 小テスト3点 テスト練習 GPでMV制作 絵コンテ作り、担当決め、ポイント練習し、次回本番に向けて調整を行う事ができる			
⑦ (11/17)	【到達目標】 小テスト3点 絵画イメージしたヘアメイク コラージュ作成、ポイント練習を相モデルで行う事ができる。				⑮ (1/26)	【定期試験】50 テーマに沿ったヘアメイク作品をGPで完成させ、撮影する事ができる。			
⑧ (11/24)	【到達目標】 小テスト3点 絵画をイメージしたヘアメイクを相モデルで完成させ、撮影する事ができる。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	ヘアメイク総合技術	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	松本 奏絵	講師 プロフィール	ベルエポック美容専門学校を卒業後、ヘアメイクに事務所に所属。独立後はブライダルを						

ヘアメイクの基本技術のおさらい。より現場に近い知識、技術を学ぶ。

【学習内容】

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

教科書・プリント・国家試験過去問題

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/27)	【到達目標】 基本的な技術チェック(メイク)	⑨ (11/30)	【到達目標】 眉毛を極める
② (10/5)	【到達目標】 前回できなかったところを踏まえた応用(メイク)	⑩ (12/7)	【到達目標】 テーマに合わせたヘアメイク
③ (10/12)	【到達目標】 基本な技術チェック(ヘア)	⑪ (12/14)	【到達目標】 接客しながら スムーズにヘアメイクを行う技術を学ぶ
④ (10/19)	【到達目標】 前回できなかったところを踏まえた応用(ヘア)	⑫ (12/21)	【到達目標】 ブライダルヘアメイクについて学ぶ
⑤ (10/26)	【到達目標】 ロケーション撮影対策	⑬ (1/11)	【到達目標】 今までの進み具合に応じて 授業内容を決定する
⑥ (11/2)	【到達目標】 ベースメイクを極める(ツヤ肌、マット肌)	⑭ (1/18)	【到達目標】 定期テストの練習
⑦ (11/9)	【到達目標】 ヘアセットのプラスワンテクニック	⑮ (1/25)	【定期試験】60 定期テスト

【到達目標】

【成績評価の方法と基準】

●小テスト40点/定期試験60点
●評価
A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)
E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

学生がより深く学びたい内容をメインで教えますので、授業内容に変更が出る可能性があります。

講義シラバス

科目名	ステージプロデュース	必修 選択の別	必修	開講 区分	授業 形態	4S	演習	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース			学年		2年生	総時間数
講師名	講師 プロフィール アトリエ/央戸・森		メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場やファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダルなどのモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々へのヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の四大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加するなど、海外まで活躍の幅を広げているアーティストが14名所属するヘア名事務所です。					

【授業を通じての到達目標】ヘアショーを通じ、チームワークの大切さや、構成・音響・照明、ステージ映えするヘアメイクを学ぶことができる。

【学習内容】ヘアショーに向けて構成を練り、クリエイティブな作品を作る。

	【授業時間外における学習・宿題・課題など】
--	-----------------------

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9 /28)	【到達目標】小テスト2点 様々なショーの形を知り、具体的にイメージできるようになる。	⑨ (11 /30)	【到達目標】小テスト2点 ヘアメイクのコンセプト作成、衣装を確定させる。
② (10 /5)	【到達目標】小テスト2点 ステージ映えするヘアメイクを相モデルで練習し、完成させることができる。	⑩ (12 /7)	【到達目標】小テスト3点 各チームで準備を進め、イメージしたショーに近づけることができるようになる。
③ (10 /12)	【到達目標】小テスト2点 ステージ映えするヘアメイクを相モデルで練習し、完成させることができる。	⑪ (12 /14)	【到達目標】中間チェック10点 各チームで準備を進め、イメージしたショーに近づけることができるようになる。 ウォーキング練習
④ (10 /19)	【到達目標】小テスト2点 ステージ映えするヘアメイクを相モデルで練習し、完成させることができる。	⑫ (12)	【到達目標】小テスト3点 各チームで準備を進め、イメージしたショーに近づけることができるようになる。 ウォーキング練習
⑤ (10 /26)	【到達目標】小テスト2点 ステージ映えするヘアメイクを相モデルで練習し、完成させることができる。	⑬ (1 /11)	【到達目標】小テスト3点 本番を想定したリハーサルを行い、より良いショーを作り上げることができるようになる。
⑥ (11 /2)	【到達目標】小テスト2点 各チーム役割決めイメージシート、演出・構成を作成。	⑭ (1 /18)	【到達目標】小テスト3点 本番を想定したリハーサルを行い、より良いショーを作り上げることができるようになる。
⑦ (11 /9)	【到達目標】小テスト2点 ☆課題授業 ステージ映えするヘアメイクをセルフで練習し、完成させることができる。	⑮ (1 /25)	【定期試験】60 本番を想定したリハーサルを行い、より良いショーを作り上げることができるようになる。
⑧ (11 /16)	【到達目標】小テスト2点 ヘアメイクのコンセプト・演出・構成を作成、衣装を決める。	【成績評価の方法と基準】	
【履修に当たっての心構え・留意点】		●小テスト40点/定期試験60点	
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導		●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)	
		●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	